

氏名	伊草 綾香	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	地域看護学、公衆衛生看護学、母子保健				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程看護学専修 2023年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士後期課程				
経歴	2018年日本保健医療大学保健医療学部看護学科助手 2021年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本小児保健協会、日本保健福祉学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	広報こしがや 健康コラム「冷房による夏の冷え性」	単著		越谷市、広報こしがや令和7年8月号P9	○伊草綾香	2025.8
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発	共著	あり		小児保健研究84(4)、P292-302	○伊草綾香、延原弘章、関美雪
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	第1子乳児をもつ母親の育児ストレスと関連要因：直近10年のテキストマイニングによるキーワード抽出と傾向分析	共同		第72回小児保健協会学術集会・石川県金沢市	○伊草綾香、延原弘章、関美雪	2025.6
2	乳幼児を持つ母親のワーク・エンゲイジメントに関連する要因の検討	共同		第72回小児保健協会学術集会・石川県金沢市	○関美雪、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏、石崎順子	2025.6
3	乳幼児を持つ母親のワーク・エンゲイジメントと相談相手の有無との関連	共同		第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市	○伊草綾香、延原弘章、関美雪	2025.10
4	乳児を持つ父母の仕事と家庭の役割の両立に関する検討	共同		第84回日本公衆衛生学会総会・静岡県静岡市	○関美雪、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏、石崎順子	2025.10
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	第1子乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発			第1子乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発	研究担当者	2024.4~2026.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			ソーシャルキャピタル活用による児童虐待発生予防を目指した地域ケアシステムの構築	研究協力者	2025.4~2028.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	○	8	母子保健の現状と課題とそれに対する対策として、母子保健法に準拠したしくみを理解できるように工夫し講義を行った。		
2	地域看護学Ⅰ		1	現代の母子保健分野においてどのような看護の課題があるのか検討を行い、地域の看護職がどのように看護を展開しているのか、過程の特徴と方法について講義を行った。		

3	広域看護学特論		1	地域組織活動と看護職の役割、健康増進施策における保健活動の特徴、健康課題解決につながる方策について教授した。
4	ヘルスプロモーション論		1	ヘルスプロモーションの視点から、健康なまちづくりに寄与する地域看護学分野の専門職の地域連携における役割について教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護技術Ⅰ	○	8	相談及び家庭訪問、乳幼児健診における援助技術の演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
2	公衆衛生看護技術Ⅱ	○	8	地区診断で分析した健康課題をふまえて健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。
3	公衆衛生看護技術Ⅲ		8	P D C A サイクルを駆使した保健事業の展開を通じて、住民との協働及び多職種連携の重要性についての理解を深めた。
4	地区診断論		9	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
5	地域看護学Ⅲ		9	在宅看護における看護の特徴と看護過程の展開方法について、事例を用いた演習を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護学実習		2025.4～2025.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。
2	地域看護学実習		2025.10～ 2025.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。
3	総合実習		2025.7	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
4	IPW実習		2025.10	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2025.5～2026.3	主指導 2名 副指導 0名
(5) その他				
	名称		期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	令和7年度保健師ステップアップ研修【ベーシック編】		埼玉県	採用1年目の保健師を対象に、キャリアレベルA1の獲得を目指す新任保健師が、行政保健師に求められる姿勢や、基本的な活動展開の方法について学ぶ研修においてファシリテーターを務めた。 2025.6
2	令和7年度保健師ステップアップ研修【レベルアップ編】		埼玉県	採用2年目の保健師を対象に、保健師人材育成プログラムに基づくキャリアラダーや自職種理解を深める演習を通して、目指したい保健師像を共有する研修においてファシリテーターを務めた。 2025.7
3	埼玉県立大学オープンカレッジ講座 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」		埼玉県立大学	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 1.「5歳児健康診査から始まる切れ目のない支援の実現に向けて」 2.「保健活動のためのデータリテラシー」 3.「児童福祉施設からみた子どもと家族-保健師に知っておいてほしいこと-」 2025.7 2025.10 2026.3

4	令和7年度保健師ステップアップ研修 【チャレンジ編】	埼玉県	採用3年目の保健師を対象に、地域の健康課題を積極的に把握し、地域特性に合わせた保健活動展開に向けた視点や方法を学ぶとともに、これまでの保健師活動について、キャリアアラダーを基に自己を振り返り、自分の課題を把握し、今後のジョブローテーションを見据えた目標設定を行う研修においてファシリテーターを務めた。	2025.7
5	令和7年度草加保健所管内保健師現任教育 研修「みる・つなぐ・うごかす地区診断」 ファシリテーター	埼玉県立大学	草加保健所管内の新任期保健師を対象とした現任教育研修において、地区診断や災害発生時の健康教育における演習のファシリテーターを担当した。(全4回)	2025.12~ 2026.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本学校健康相談学会		第22回学術集会配信・会場運営委員	2026.1~2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	総合実習運営担当者		2025.4~2026.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス 実習室紹介者		2025.7
3	国際交流活動	国際交流委員会看護学科交流企画		2025.10
4	学生支援	卒業生ホームカミング日の開催		2025.6
5	学生支援	保健師志望学生に対する就職活動支援		2025.4~2025.6
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			